

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

('22LS1(TCF9810W/G/E)・LS2(TCF9820W/G/E)

'22AS1(TCF9710W)・AS2(TCF9720W)

'22RS1(TCF9510W)・RS2(TCF9520W)・RS3(TCF9530W)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特殊品に切り替えることができます。

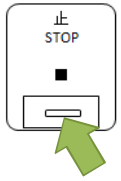
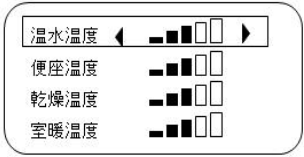

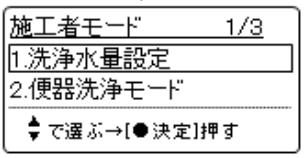
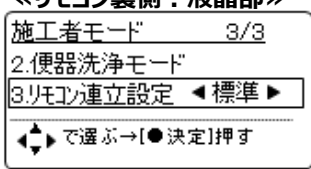



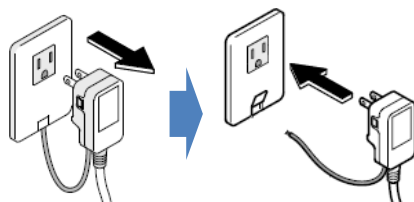

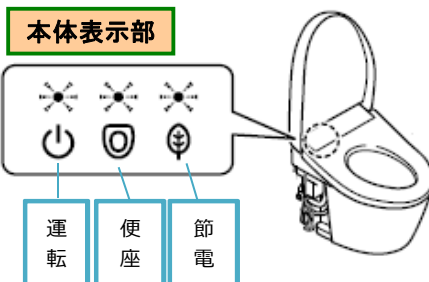


この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

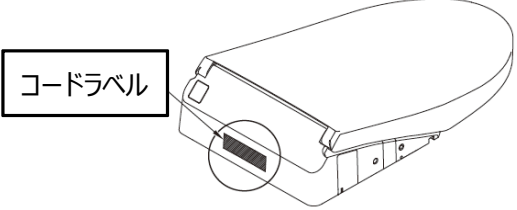
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ 特 1 イ プ)	(タ 特 2 イ プ)	正 規 品	(タ 特 1 イ プ)	(タ 特 2 イ プ)
(タ 特 3 イ プ)	(タ 特 4 イ プ)	(タ 特 5 イ プ)	(タ 特 3 イ プ)	(タ 特 4 イ プ)	(タ 特 5 イ プ)

<<設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法																																													
1	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>「リモコン表側」</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>「リモコン裏側：液晶部」</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②リモコン表側の「止」スイッチを約10秒押しと、裏側の液晶画面が【施工者モード】に切り替わります。</p>																																												
2	<div style="text-align: center;"> <p>「リモコン裏側：液晶部」</p>  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>リモコン連立設定を 特9 に設定しました</p> </div>	<p>①【施工者モード】の【3.リモコン連立設定】へ液晶画面横の▼ボタンでカーソルを合わせる。</p> <p>②【3.リモコン連立設定】の横に 標準 から画面横の▶ボタンで<特1・特2…特14>と表示が切替わるので設定したい状態の所に合わせる。(例：特9)</p> <p>③液晶画面横の●ボタンを押すと【リモコン連立設定を特9に設定しました】と表示されると設定完了。</p> <p>④液晶画面横の■メニュー/戻るボタンを押して最初の画面に戻る。</p> <div style="margin-top: 20px; border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>「ご注意」</p> <p>特殊設定は標準～特9まで設定を行ってください。 リモコン側は標準～特14までの設定が可能です、 本体側は特9までしか受け付けません。</p> </div>																																												
3		<p>ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度差し込む。 (イニシャル動作をする。)</p> <p>◆設定中の製品以外は電源を投入しないこと。</p>																																												
4	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>本体表示部</p>  </div>	<p>ウォシュレット本体のイニシャル動作後 (電源が「入」になってから2分以内に)、</p> <p>リモコンの  ボタンを「10秒以内に5回」押し。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅する。</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #e0f0e0;">本体ランプ表示一覧</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>設定モード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>便 座</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>節 電</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table> </div>	設定モード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	運 転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●	便 座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×	節 電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲
設定モード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																				
運 転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●																																				
便 座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×																																				
節 電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲																																				

手順	リモコン特殊コード切り替え方法	
5	 <p data-bbox="292 165 459 230">コードラベル</p>	<p data-bbox="895 185 1316 248">ウォンシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>

◆切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。